



厚生委員会

市の環境福祉部、子ども保健部及びクリーンセンター建設事務所の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎津本辰己 ○近藤吉一郎
秋久憲司 川端恵美子 末永弘之
松本義隆 山田 誠

厚生委員会に付託された議案11件、請願3件について審査を行った。

議案第70号のうち関係する項目の審査では、暴力団排除条例の制定を受けて、市民生活に関係する予算に反映できているのかとの質疑があり、条例を制定した今だからこそ、暴力団排除を積極的に実施するためにも、一定程度の予算措置が必要ではないかとの意見が出された。

ときわ園建設事業について質疑があり、委員からは移転に際する地元対応について、今後もいねいな説明を心掛けるよう要望が出された。予防費の審査に関連し、高齢者を対象とする肺炎球菌ワクチンの接種助成について、制度開始に向けて早急な対応を求める意見が出された。また子ども医療費についても、通院医療費の完全無料化を求めたいとの意見が出された。

なお、一部の委員から、委託料の一部やクリーンセンター建設事

業に関する予算措置などに反対の意見が出された。審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第73号の審査では、医療給付費の抑制と健康維持につながる特定健康診査等事業について、減免制度を周知する広報活動の拡充など、受診率の向上につながる事業を一層推進するようにとの意見が出された。審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第78号の審査では、今後とも制度を継続的に運営するため、他都市の先進事例等を参考としながら、地域支援事業や包括的支援事業を最大限活用して、保険料の抑制につながる津山モデルの構築を求めた。

一部の委員から、保険料額を抑えるために、一般会計から政策的に繰り入れるべきであり反対との意見が出されたが、審査の結果、

賛成多数で原案のとおり可決すべきものとした。

議案第81号、議案第90号のうち関係する項目、議案第93号、議案第97号、議案第100号、議案第104号、議案第106号の審査については、当局の説明を聴取した結果、それぞれ適切で妥当な措置、またはやむを得ない措置と判断して、いずれの議案も全員一致で、議案第105号については賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

「総合福祉法」(仮称) 制定に関する意見書の提出に関する請願書「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を促す意見書提出を求める請願書については採択すべきものと決定した。また、原子力推進政策を抜本的に見直し自然再生エネルギーを推進を求める請願書については、現在のエネルギー供給体制並びに社会情勢等を勘案する必要があるとの意見に集約し継続審査とした。

◎ 議員はお中元やお歳暮も禁止されています。